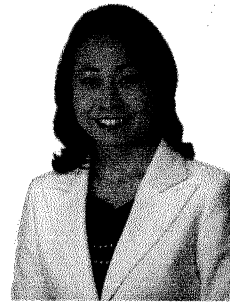


鎌倉市議会議員 久坂くにえの議会・活動報告

Web版活動報告は www.kkusaka.net

く さ か

久坂くにえ通信



昭和48年2月生まれ O型 聖心女子大学文学部英文学科卒業

総務常任委員会・議会運営委員会副委員長・都市計画審議会

自治基本問題調査特別委員会・17年度一般会計決算等審査特別委員会所属

若手市議会議員の会関東ブロック事務局長・民主党鎌倉市議会議員団所属

第19号2007年1月

新しい一年の始まりです

昨年は観光厚生常任委員会から総務常任委員会へと所属委員会が変わり、また新たに自治基本問題調査特別委員会に所属する事になりました。

今年も市民の皆様のお役に立てるよう議員としての研さんを積んでまいります。

どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。

■ そう簡単には捨てられない？12月定例会一般質問概要

といっても、ごみの話ではありません。市が行っている事業の話です。

現在市では、336の中事業を対象に内部評価が行われていますが、その内容は休廃止・統合または縮小すべきが4.3%という結果でした。

もちろんこの数字が大きければよい、というものでもありませんが、やはり外部評価といった第三者の目をまじえた判断になると相当その結果には乖離があるようです。

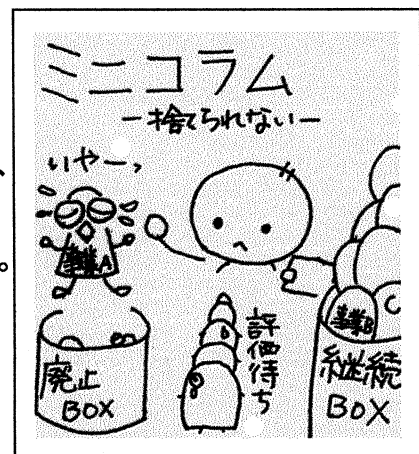
例えば事業仕分けという、全くの第三者で事業評価を行う手法がありますが、この仕分けを行った自治体では現事業の約13%を廃止か民間に委託すべき、といった数値がでています。事業仕分けは

- ・まず、その事業自体は本当に行うべき有効性を持っているものなのか
- ・有効であるならばその事業主体はどこが担当すべきか。行政なのか、民間なのか。
- ・行政なら市町村、県、国どこが行うのが最適なのか、

ということを判断する手法で、行政改革推進法案にその内容が盛り込まれています。

各事業は市民生活に直結し、その改廃は簡単に行えない、つまり捨てられないもの。しかし、当然のことながら、もはや国・地方において無駄な事業を行っている余裕はありません。改廃、事業主体の再考を積極的に行う必要があります。

事業仕分けの視点をもっと生かし、事務事業評価を行うこと、例えばもっと小事業に分類し評価を行ったり、外部評価を拡充し、事業の見直しをはかるよう要望しました。



■ 土砂災害を防止するために

過去 10 年間に起こった土砂災害を都道府県別に見てみると、新潟の 1008 件について神奈川の 606 件は全国 2 位の発生となっています

H13 年には土砂災害防止に関する法律が交付され、国も対策に乗り出しています。

この制定を受けて、都道府県が基礎調査を行い、土砂災害のおそれのある区域などを決定し、防災計画への記載、警戒避難体制の整備、ハザードマップによる周知の徹底が行われることになっています。

鎌倉市は谷戸の多い特徴的な地形を有しますが、H14 年の基礎調査による危険箇所数は 361 箇所とされています。

今後まずこのうちの 111 箇所の現地概査を行い、H21 年までの 5 年間で全箇所終了し、区域指定を行っていく予定となっています。

県が主体となっているこの事業ですが、県下においても箱根町、横浜市一部とともに早期に区域指定に取り組む自治体として鎌倉市が選ばれていることから、早い段階での全箇所の概査終了が必要と考えます。

■ チャリティ公演報告

親交のある、NPO ゆうらいふが毎年行っているクリスマスチャリティ公演が先日県民ホールで行われました。

公演は劇団四季によるもので、今年の演目は「王子とこじき」。

こういった公演にお出かけのしにくい各施設のお子さんや、養護学校の生徒さんまた保護者の方々に県内・また市内からもおいでいただきました。ありがとうございます。



出演者と公演終了後に

■ 新春バスツアーのお知らせ

参議院議員浅尾慶一郎議員のあさお会が主催するバスツアーです。

どなたでも気軽にご参加いただけます。

日時 : 平成 19 年 1 月 29 日(月)

行程 : 鎌倉市内→成田山新勝寺→ヒルトン成田(昼食)→浅草散策→帰途

会費 : ¥5,500

お問い合わせ・お申し込み先: 0467-47-5682

なんでも募集しています!

久坂くにえを応援してくださる方 この通信の配布などお手伝いくださる方
サポーターを随時募集しています。お気軽にご連絡ください!

久坂くにえサポーターズクラブ

〒247-0056 鎌倉市大船 2-10-25-302 TEL/FAX 0467-47-1905

メール: mail@kkusaka.net HP: <http://www.kkusaka.net>